

平成 24 年 8 月 6 日

南 の 風 XI

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

「東日本大震災」被災地復興支援 ～とどけよう スポーツの力を東北へ！～ のスローガンの元行われました第33回横浜マリノボールカップが無事終了しました。参加されました県外を始め、すべてのチームの選手の皆様、指導者及び保護者、関係者の皆様、猛暑の中本当にありがとうございました。大きな事故や怪我、また熱中症もなく終われましたことが何よりでした。また、一部運営にも携わっていただきました、横浜B-CORSAIRSのGM小川直樹様、選手の蒲谷正之さん、久山智志さん、株式会社ERUTLUCの鈴木良和様、関谷悠介様、心より厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。そして、4月当初より、開催に当たり尽力いただきました、南部連盟の役員及び保護者会の皆様、そして関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。なお大会結果等につきましては、ホームページをご覧ください。また、ゲームの様子につきましては、次号に乗せたいと思います。

さて、ここでX号の続きを書きます。2対2のスペーシングです。まずボールサイドのスペーシングについて書き、次にウィークサイドのスペーシングについて触れます。図がなくてすいません。

①攻めるゴールに向かって右ウイングとローポスト（ボールサイド）をイメージしてください。右ウイングがボールを持ってストロングサイド（イン）へペネトレイト（ドライブイン）するとします。この時ローポストのプレイヤーは、スペーシングアウトします。（原則1）次に、右ウイングがウィークサイド（ダウン）へペネトレイトするとします。この時ローポストのプレイヤーは、エルポー（右ハイポスト）へスペーシングアップします。（原則2）

②攻めるゴールに向かってトップと右ウイングをイメージしてください。右ウイングがボール持ってペネトレイトイン（ハイポストを横切るように）するとします。この場合は、トップのプレイヤーはボールから遠ざかるように（逆の左ウイングの方へ）フレアカットします。（原則3）次に右ウイングがペネトレイトダウン（ゴールへ向かってドライブイン）した時は、トップのプレイヤーはリリースパスを受けられるように、ウイングが元いた場所にトレースします。（原則4）

③攻めるゴールに向かって右ウイングとローポスト（ウィークサイド）をイメージしてください。右ウイングがボールを持ってペネトレイトイン（ハイポストを横切るように）するとします。この時ウィークサイドのローポストのプレイヤーは、ゴールに向かいバックドアカットします。（原則5）そして、右ウイングがペネトレイトダウン（ゴールにドライブ）した時は、ウィークサイドのローポストのプレイヤーは、ハイポストへスペーシングアップします。（原則6）

以上が2対2のスペーシングのルールです。よいスペーシングは、オフェンス側にとってより多くの攻めの選択肢とよい判断が作り出せるようになります。プレイヤーが早い時期（ミニバスの時代）からスペーシングのコンセプトを理解することは、オフェンスプレイの仕方を学ぶことに繋がりますので、指導者のみなさんはぜひ練習に取り入れてみてください。

8月の1日～2日にインターハイの見学に金沢市に行ってきました。ゲームも会場も熱かった（暑かった？）です。大会の様子については次号以降に書いてみたいと思います。